

## 牛の吸血昆虫対策

ムシあつい季節の到来です。環境中の温度や湿度が高くなり、虫の活動が活発になってきました。吸血昆虫は主に獣糞やエサなどの有機物、水たまりや草地などの湿った場所で発生し、吸血によって生活を営んでいます。

### 【主な吸血昆虫と牛への影響】



サシバエ

サシバエの発生源は主に牛糞であり、新鮮な糞よりは少し古めを好みます。吸血による痒痛感や貧血などに加え、牛白血病ウイルスを伝播します。牛はサシバエが飛来すると落ち着きがなくなり、採食量や飲水量が減り、睡眠や休息が妨害されることから、乳量や増体量の低下など生産性に影響します。



アブ

皮膚の表面に鋭い口吻で傷を付け、浸出する血液を舐め、牛白血病ウイルスを伝播します。牛はアブの刺咬から逃れようと不安定になり、落ち着かず、興奮し、採食が妨げられて発育不良になります。



ヌカカ

ウシヌカカは西日本を中心とした温暖な地域に分布しています。吸血により、アカバネ病、チュウザン病、アイノウイルス感染症、ブルータンク、イバラキ病、牛流行熱といったウイルス性疾病の病原体を媒介します。



蚊

吸血により、様々な病原体を伝播します。

## 【対策】

### 1. 発生しにくい牛舎内・牛舎周囲環境の整備

- ◇清潔・乾燥した牛舎環境にするため、こまめな除糞を行いましょう。
- ◇牛舎内の水たまりなどの湿った場所をなくし、消石灰散布などにより床面を乾燥させましよう。
- ◇飼料に蓋やシートをかぶせ、残餌を除去し、虫に栄養を摂らせないようにしましよう。
- ◇牛舎周囲の草刈り、水たまりをなくすことによって、虫の生息数を減らしましよう。

### 2. 牛舎内への侵入防止

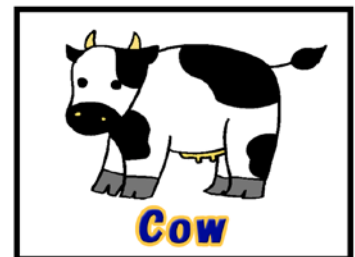
- ◇防虫ネットを出入り口につけましよう。
- ◇物理的なトラップ（ハエ取り紙などの捕虫器、電撃殺虫器）を設置しましよう。

### 3. 牛に寄りつかせない

- ◇こまめな除糞によって、牛床・牛体を清潔に保ちましよう。
- ◇送風ファンなどで牛舎内に気流をつくることで、虫が牛に近づくことを難しくさせましよう。
- ◇牛の健康状態を良好に保ち、虫を追い払う力を維持させましよう。
- ◇必要に応じて薬剤の使用を検討しましよう。

### 4. 薬剤を使用する場合

- ◇使用方法：薬剤の効能効果、牛の飼養状況に応じてプアオン法、イヤータッグ法、噴霧法、散布法などを選びましよう。
- ◇用法用量・休薬期間・使用上の注意を守り、薬剤を使用した時は記帳しましよう。
- ◇飼料などに殺虫剤がかからないように注意しましよう。
- ◇長期間同じ薬剤を使用すると、薬剤に対する虫の耐性が出来るので、数種類の薬剤を交互に使用しましよう。



神奈川県湘南家畜保健衛生所

〒259-1215 平塚市寺田縄 345

TEL : 0463-58-0152 FAX : 0463-58-5679